

個人山行

越後：巻機山

- ◆日程 2021年8月11日(水)
- ◆メンバー L:0T
- ◆天候 雨のち晴

北海道遠征山行が8/8～12のところ、台風10号の影響で大雪山旭岳まで南下を断念することとなり、8/9には横浜に戻った。翌8/10は装備のメンテに充てるも、8/11以降の夏休みが勿体ない。不安定ながらも天気が持ってくれそうなのはどこも8/12までの様子。それなら融通の利くデイハイク2本が丁度良い。緊急事態宣言下なので、公共交通機関を避けて、マイカーで遠征することにした。1本目に選んだのは巻機山。一昨年秋、米子沢の沢登りで来たことがあるが、山頂には立っていない。標高は生まれ年の1967mなので楽しみだ。

未明に自宅を発ち、目標時間に到着、既に数台の車あり。駐車場内のトイレは新しく、とてもきれいになっている。曇り空だが、昼前には晴れるとの予報を期待して登山開始。が、程なく雨がぱらつき始め、次第に本降りに。雨具を付けて蒸し暑さが増す。しかも、単調な登りが続く。早く稜線に出たいとペースアップし、益々汗だくになる。稜線に出ても、山頂に着いてもその先の牛ヶ岳まで足を延ばしてもガスと霧雨で視界が広がらない。戻り始めた頃、わずかに青空が覗いた。期待しつつゆっくり歩いていると、次第にガスが薄くなり、来た道が見渡せるようになってきた。米子沢源頭の雪渓も姿を現した。どうやら登りを急ぎ過ぎたようだ。避難小屋で雨具を脱ぎ、のんびり景色を堪能して下山開始。米子沢に注ぐ多数の滝も良く見えた。下山のペースを上げたところで濡れた岩に足を滑らせ転倒。腕から流血という「痛い」結果に。最後まで集中を切らしてはならない。

下山後は、今年3度目になるシルバーライン(1度目は越後駒ヶ岳の銀山平登山口へ、2度目は平ヶ岳の登山口へ行った際に)を経由して、明日登る会津駒ヶ岳の麓に向かう。長い道のりだが終盤で躑ヶ岳の勇姿を眺めることが出来た。駒の湯で汗を流し明日に備えることにした。

(記:0T)

CT:自宅=(車)=桜坂駐車場 6:20 - ニセ巻機 8:47 - 巻機山 9:30 - 牛ヶ岳 9:50 - 巻機山 10:20 - 巻機山避難小屋 10:55/11:25 - ニセ巻機 11:37 - 桜坂駐車場 13:20=(車)=道の駅尾瀬檜枝岐(泊)

